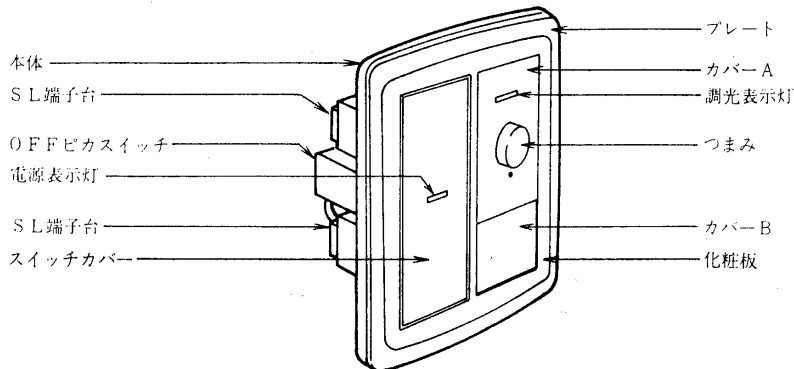


DF-20153-PD DF-24153-PD

このたびは、蛍光灯調光器（FLコントロールクスPD）をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。お求めの〈コントロールクス〉を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

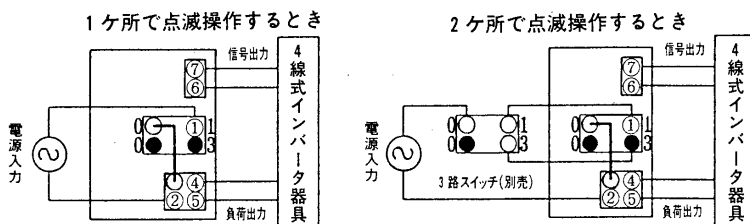
各部のなまえ



特にご注意を

- ①このコントロールクスは定格表の4線式インバータ組込み器具専用です。（2線式インバータ組込み器具、位相制御式蛍光灯調光器具、電球型蛍光灯器具等には使用できません。）
- ②このコントロールクスの負荷灯数は定格表の灯数内にてご使用ください。（4線式インバータの入力電流値の合計が15A以下の台数までです。）
- ③工事および保守点検の際は、必ず電源をお切りください。
- ④電源電圧についてはご確認のうえ、電源電圧に合ったコントロールクスをご使用ください。
- ⑤調光範囲は器具の種類により決まりますので用途に合った器具を選択してください。
- ⑥旧形コントロールクスおよびDF-10151、DF-10152、DF-20151、DF-20152との互換性はありません。
- ⑦このコントロールクスの調光信号出力線は総配線長で100m以下（コントロールクスと器具間50m以下）としてください。（調光信号出力の極性はありません。）
- ⑧このコントロールクスの調光信号出力線を短絡（インバータの故障による短絡など）したままにしておきますと、コントロールクスが壊れるおそれがありますので、すみやかに短絡箇所を修復してください。
- ⑨このコントロールクスの適合スイッチボックスは2個用スイッチボックス（カバー付）（JIS C 8336）に適合します。（カバー無の2個用スイッチボックス深形使用の場合には、取付けネジ押えのスタッド部等を除去して取付けてください。）
- ⑩このコントロールクスのOFFピカスイッチに取付けてある黒色の渡り線は絶対に取外さないでください。

配線のしかた



- ①電源入力線および負荷出力線は低圧屋内配線工事、調光信号出力線は弱電流配線工事が必要です。
- ②電源入力線および負荷出力線はφ1.6又はφ2.0の銅単線（IV、VVF線等）を、調光信号出力線はφ0.8～φ1.0の銅単線（CPEV）又は警報用電線、AE線（OP線など）をご使用ください。ただし、シールド線のアース処理は必要ありません。
- ③電源入力用端子および負荷出力用端子はφ1.6又はφ2.0用速結端子、調光信号出力端子はφ0.8～φ1.0用速結端子を採用しています。
- ④調光信号出力線は総配線長で100m以下（コントロールクスと器具間50m以下）としてください。（調光信号出力の極性はありません。）
- ⑤器具への接続時、負荷出力線と調光信号出力線を間違わないように接続してください。（誤結線しますと器具が壊れます。）
- ⑥コントロールクスへ接続時、電源入力線と調光信号出力線を間違わないように接続してください。（誤結線しますとコントロールクスが壊れます。）
- ⑦コントロールクスのOFFピカスイッチに取付けてある黒色の渡り線は絶対に取外さないでください。

調光操作について

- ①スイッチカバーの右側を押すと、ランプが点灯します。（この時電源表示灯が消え、調光表示灯が点灯します。）
- ②つまみを時計方向に回すと明るくなり、反時計方向に回すと暗くなります。
- ③スイッチカバーの左側を押すと、消灯となります。（この時電源表示灯が点灯します。）



お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられています。

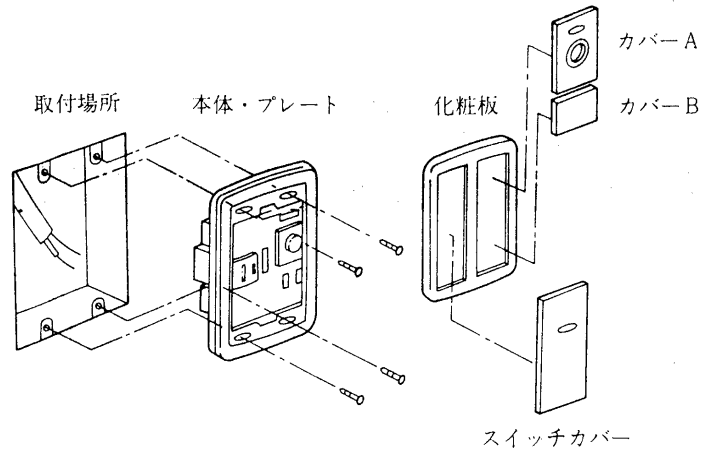
工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

(001M008)A

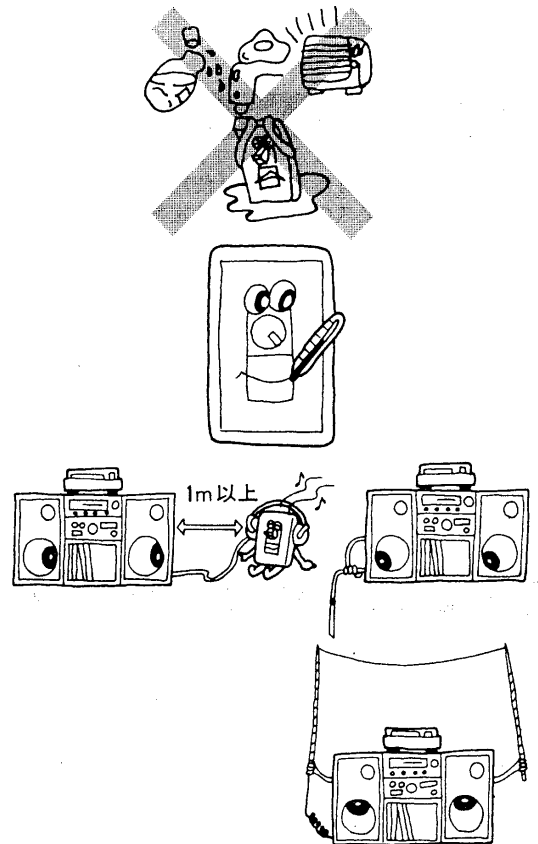
取り付けかた

- ①取り付け前にプレートより化粧板をはずしてください。
- ②電線を接続します。
 - 電源入力線、負荷出力線の被ふくをS L端子台のストリップゲージにあわせて14mmむいてください。
 - 信号出力線はコントロールス銘板のストリップゲージにあわせて12mmむいてください。
 - 電源入力線、負荷出力線、信号出力線を間違わずに、芯線を実際に奥まで差し込んでください。
 - 電源入力線、負荷出力線はφ1.6又はφ2.0の銅単線（IV、VVF等）をご使用ください。
 - 信号出力線はφ0.8～φ1.0の銅単線（CPEV）又は警報用電線、AE線（OP線等）をご使用ください。ただし、シールド線のアース処理は必要ありません。
- ③右図に示す順序で取り付けます。



ご注意とお願い

- ①このコントロールスは、屋内専用です。0～35℃の範囲内で使用するよう設計されています。つぎの場所には取り付けないでください。性能が低下するばかりでなく故障のもとになります。
 - ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
 - 浴室など、とくに湿度の高いところ。
 - 有毒ガスや、ほこりが特に多いところ。
 - 水や、薬品がかかるおそれがあるところ。
- ②ご使用中、わずかなうなり音が発生したり、つまみやプレートが当たったりしますが、異常ではありません。
- ③消灯するときは、コントロールスのスイッチカバー又は3路スイッチ（2ヶ所点滅のとき）にて消灯してください。
- ④ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。
- ⑤このコントロールスは雑音防止設計になっていますが、ラジオやステレオなどの音響機器に雑音障害をおよぼす場合があります。そのときは、つぎのような対策をしてください。
 - 〈コントロールス〉と音響機器およびアンテナ、アース線はできるだけ（1m以上）はなしてください。
 - 音響機器にアースを取り付けてください。
 - 有効なアンテナを張ってください。
- ⑥プレートやつまみが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。器具をいためますのでガソリン・シンナー・ベンジン・アルコールなどの薬品でふかないでください。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談される場合は器具の形名および、お買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕様

形名	DF-20153-PD	DF-24153-PD
電源電圧	200V	242V
周波数	50/60Hz	
負荷容量	蛍光灯15Aまで	
適合インバータ（器具）	4線式調光形電子安定器 インバータD4 HfインバータD	
調光制御可能台数	インバータの入力電流値の合計が15A以下までの台数までです ON・OFFをコントロールスのスイッチで行わない場合の最大調光制御可能台数は50台です。	
周囲温度	0～35℃	
重量	約370g	
色	ホワイト	

※適合インバータの形名は予告なく変わることがあります。